

[引用文献]

- ・ 文部科学省 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について」(2012, 2013)
- ・ 文部科学省 「今後の不登校への対応の在り方について(報告)」(2003)
- ・ 三重県教育委員会 「公立学校及び中学校における不登校の状況等」(2011)
- ・ 四日市市教育委員会 「新しい時代を切り開く子ども＝四日市市教育白書＝」(2011)
- ・ 四日市市教育委員会青少年育成指導室 「公立小学校中学校における不登校の状況」(2010, 2011)
- ・ 四日市市立教育センター研究調査報告 第389集 「学校における不登校及び不登校傾向生徒への効果的な支援方法の研究 ～登校支援委員会での取り組みを中心に～」(2012)
- ・ 大分県教育委員会 「不登校等児童生徒対応及び不登校問題対策について」(2010)

[参考文献]

- ・ 四日市市教育委員会 「第2次四日市市教育ビジョン」(2011)
- ・ 小林 正幸・大熊 雅士 「不登校にしない先生・登校を支援できる先生」明治図書(2009)
- ・ 小林 正幸 「事例に学ぶ 不登校の子への援助の実際」金子書房(2004)
- ・ 菅野 純 「不登校 予防と支援 Q&A 70」明治図書(2008)
- ・ 小澤 美代子 「上手な登校刺激の与え方」ほんの森出版(2003)
- ・ 小澤 美代子 「続 上手な登校刺激の与え方」ほんの森出版(2006)
- ・ 片野 智治・川崎 久詩・住本 克彦・山下 みどり 「エンカウンターで不登校対応が変わる」(2010)
- ・ 佐賀大学文化教育学部・佐賀県教育委員会 「不登校支援調査研究プロジェクト報告書」(2011)
- ・ 横浜市教育委員会 「不登校対策アクションプラン(改訂版)」(2011)
- ・ 生徒指導・進路指導研究センター 「不登校・長期欠席を減らそうとしている教育委員会に役立つ施策に関するQ&A」(2012)

「不登校支援に関するアンケート」

四日市市適応指導教室

若手教員（初任者～教職経験5年以下の先生）を対象にアンケートを実施し、不登校を未然に防ぐ効果的な支援について考え、学習会の開催を計画しています。以下の質問にお答えいただくよう、ご協力をお願いします（該当する項目に○印をつける、もしくは記述にてお答えください）。

（記入日 月 日）

経験年数 （ 初任者 ・ 2年目 ・ 3年目 ・ 4年目 ・ 5年目 ）

年代 （ 25歳未満 ・ 25歳～29歳 ・ 30代 ・ 40代以上 ）

- (1) 不登校の支援方法等について勉強したことがありますか。
 ある ない
 →「ある」と答えた人に聞きます。どのようにして勉強しましたか。（複数回答可）
 a 大学で授業を受けた b 自主的に学習した c 先輩の教員から教えてもらった
 d その他（ ）
- (2) 不登校の支援方法について学ぶ研修会に参加したことがありますか。
 ある ない
 →「ある」と答えた人に聞きます。どのような研修会ですか。（複数回答可）
 a 初任研 b 県教委主催の研修会 c 市教委主催の研修会 d その他の研修会
- (3) 今までに不登校生徒と関わったことがありますか。
 ある ない
 →「ある」と答えた人に聞きます。
 ① 関わった時の立場は？（複数回答可）
 a 担任 b 副担任 c 教育相談担当 d 生徒指導担当 e 部活顧問
 f その他（ ）
 ② 担任として関わったのは教員となってから何年目ですか。（複数回答可）
 a 1年目 b 2年目 c 3年目 d 4年目 e 5年目
 ③ 不登校生徒に対し、どのような支援をしましたか。（複数回答可）
 a 家庭訪問 （ 週1回 2週に1回 10日に1回 月1回 不定期 ）
 b 定期的な連絡 （ 電話 手紙 メール その他「 ）
 c 学習支援 （ 家庭訪問時 別室登校時 その他「 ）
 d 専門機関につなぐ（福祉機関 医療機関 児童相談所 支援センター その他「 ）
 e 保護者相談
 f その他（ ）
- (4) 不登校生徒に対し、具体的にどのような支援を行うと効果的でしたか（もしくは、効果的だと考えますか）。特に効果的だと思う支援方法3つを選択して下さい。
 a 登校を促すなどの刺激を与える
 b 選れた分の学習支援を行う
 c 学校の行事やクラスの様子を伝え、学校に居場所を作る
 d 今後の見通しや進路について話し、目標を持たせる
 e 生徒の生活の状態や困っていること等、状況を把握する
 f 生徒の気持ちに寄り添って話を聴き受け止める
 g 生徒の興味関心のあることを話す等、関係づくりを行う
 h 一緒に何かをする → 具体的に何をしましたか（ ）
 i 専門機関やSCと連携する→ どこと連携しましたか（ ）
 j 保護者の話をしっかり聴く等、連携を大切にする
 k 支援チームを作って、協力して支援を行う
 l その他（ ）

<資料1-2>

(5) 初めて不登校生徒を担当した時、支援するうえで困ったこと（困るであろうと予測されること）はどんなことですか。主となるものを3つ選んでください。

- a 基本的な支援の方法がわからない
- b 生徒と関わる時間の確保が難しい
- c 生徒とうまくコミュニケーションをとることができない
- d 校内の共通理解が難しい
- e 学習や進路支援について
- f 保護者との関係づくり
- g 不登校になった原因がわからない
- h その他 ()

(6) 日頃、生徒の指導や支援に困った時はどうしていますか。

- a 相談する → (学年の先生 養護教諭 管理職 SC 他< >)
- b 本を読むなどして調べる
- c 研修会に参加して学ぶ
- d その他 ()

(7) 不登校支援についての研修会(学習会)では、どのようなことを学びたいですか。特に学びたい内容を2つ選択してください。

- a 早期発見・早期対応の基本
- b 子どもとの関わり方
- c 不登校支援の基礎基本
- d 保護者との連携の仕方
- e 専門機関等との連携の仕方
- f その他 ()

(8) 不登校を未然に防ぐためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(9) 日頃、生徒(不登校生徒に限らず)と関わるうえで、心がけていることはどんなことですか。

(10) 適応指導教室がどのような教室か知っていますか。

知っている 知らない

(11) 適応指導教室で行っている支援内容や不登校支援について知りたいことや質問があれば、ご記入ください。

☆ご協力いただき、ありがとうございました。

夏季休業中(7月25日・8月8日を予定)に、四日市市適応指導教室見学会及び不登校支援の学習会を計画しています。ご都合のよい日に、是非ご参加下さい。お待ちしております。



<資料2>

平成24年度 ふれあい教室学習会 振り返りシート

期 日	月 日 ()	経験年数 (延べ)	年 <講師経験も含む>
所 属		名 前	
「不登校支援に関するアンケート(中学校)」の提出		YES	NO
本日の研修会に参加した目的			

1 本日の研修会の内容等について(該当するものにまる〇をつけてください)

(1) 理解しやすい内容でしたか?

(YES どちらかといえばYES どちらかといえばNO NO)

(2) 教職員として、今後の職務・実践に活かせる内容でしたか?

(YES どちらかといえばYES どちらかといえばNO NO)

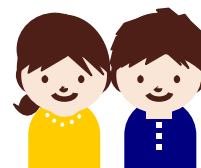
2 本日の研修会について、意見・感想等をご記入ください。

3 2学期からの実践に生かしたいと思ったことがありましたら、ご記入ください。

--

4 2学期以降のフォローアップを希望しますか。

(YES どちらかといえばYES どちらかといえばNO NO)



☆2学期末にアンケートを送りますので、ご協力をお願いします☆

<資料3>

平成24年度 ふれあい教室学習会 振り返りシート（冬）

所 属		名 前	
-----	--	-----	--

2学期を振り返って

(1) ふれあい教室の学習会に参加して、不登校支援や対策に取り組む意識に変化はありましたか。

(YES ・ どちらかといえばYES ・ どちらかといえばNO ・ NO)

(2) 実際に取り組んだ支援方法や対策方法はありますか。

(YES ・ どちらかといえばYES ・ どちらかといえばNO ・ NO)

⇒どのようなことに取り組みましたか。実践した内容をご記入ください。



(3) 不登校支援や対策をする中で、困ったことなどはありますか。

(YES ・ どちらかといえばYES ・ どちらかといえばNO ・ NO)

⇒どんなことに困りましたか。具体的に困ったことをご記入ください。



(4) 今後、不登校支援に関する研修会や学習会があれば参加しようと思いますか。

(YES ・ どちらかといえばYES ・ どちらかといえばNO ・ NO)

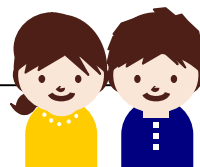
⇒参加するなら、どんなことを学びたいですか。



(5) 日頃児童生徒と関わる中で感じていることやご意見ご質問等ご自由にお書きください。

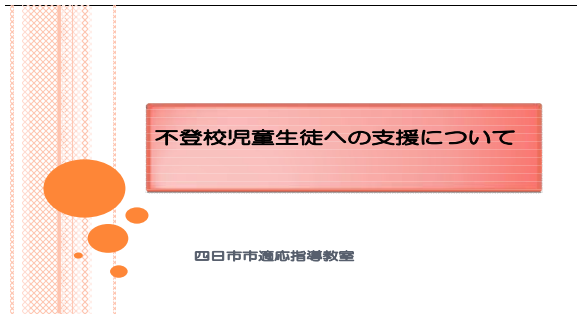


☆大変お忙しい時期に、振り返りシートにご協力いただき、
ありがとうございました



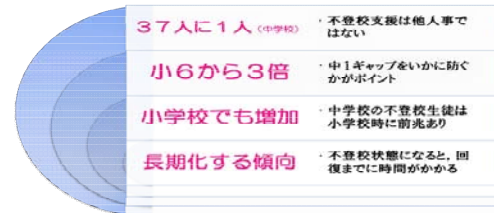
<資料4—1> 学習会資料（一部省略）

1



2

☆近年の不登校児童生徒の実態



3

今日の学習会の内容

- 1 不登校の前兆
- 2 不登校の段階と支援例
- 3 実践されている効果的支援
- 4 信頼関係づくり

4

演習① 考えてみましょう！！

<例1> インフルエンザの後 欠席が続いている
 <例2> いろいろな仕事を頼まれやすい
 <例3> グループをつくる時はいつも1人になる

それぞれの生徒について考えてみましょう。
 どんな悩みを抱えていると思いますか？

5

演習① どんなことが考えられましたか？

例1 インフルエンザの後 欠席が続いている	例えば・・・ ・休みが長引き、行きづらく、休んでいた間の学習に不安がある。
例2 いろいろな仕事を 頼まれやすい	・嫌でも断ることができない。仕事をおしつけられて困っている。
例3 グループをつくる時 はいつも1人になる	・特定の仲のいい友達がいない。自分から声をかけて入っていくことができない。

6

1 不登校の前兆！？
～他にも気をつけてほしい生徒が～

よく腹痛になり トイレや保健室 通い	月2～3回 頭痛で休む	休み時間に廊下 をうろうろする
嫌なことがある と身体症状 にでる。	登校しぶりの 始まり	友達がい ない
何か話したい ことがある	出にくい曜日 がある	教室に いられない 事情がある

7

1 不登校の前兆！？
～他にも気をつけてほしい生徒が～

授業中は ぼーっとして いる	市内からの 転校	部活を 休みがち
勉強が全く わからない	家庭環境の 変化	トラブルが あった
わからないこと を 知られたくない	離婚や 再婚	相談できる 人がいない

8

1 不登校の前兆！？
～他にも気をつけてほしい生徒が～

遅刻が多い	落ち着きがなく 姿勢が悪い
朝、起こし てもらえない	じっとしてい られない
朝ごはんの用 意がなく食べ ていない。	発達障害の 疑いあり

見極めが
必要

<資料4—2>

9

こんな事例もありました

<Aさん>
 ・小学校の時、大変おとなしい子でした。
 特定の友達はいませんでした。
 周りの子とトラブルがあったり、
 仲間はずしにされる
 ということはありませんでした。

↓

中学校の途中から、学校に行きづらくなり
 不登校になってしまいました。

10

このような様子が見られる子どもたちは…
 (小澤2003)

日常生活を送るのが
 苦しくなる時期

← 前兆期

<様子>元気がなくなり
 表情が暗くなる

どのような支援が必要？

11

不登校の前兆期の支援例

(小澤 2003)

≪ポイント≫
 1人で悩む孤立状態にしない

↓ そのために・・・

変調に気づき、
 軽い声かけを大切にする

12

☆欠席はじめ3日間の対応がカギ
 ~ 気になる子はもちろん、普段元気な子の場合でも

欠席1日目
 電話で様子確認・明日の連絡

欠席2日目
 家庭訪問で直接様子を確か

欠席3日目
 数人集まり、支援の作戦会議

13

☆小中の情報共有の大切さ
 ~ 気になる子に早く気づくために~

小学校
 10日以上欠席者をピックアップ

中学校
 情報を共有し、支援法を確認

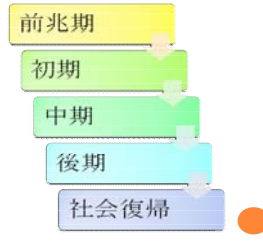
入学後
 必要に応じて支援方法の見直し

特小4~小6
 は注意

14

2 不登校の経過と段階

○時間的経過と状態の経過にしたがって、大きく5段階に分けられます。



○それぞれの段階に応じた支援が必要です。

15

不登校の経過と段階・・・初期

頭痛や腹痛などの
 身体症状がでる時期

← 初期
 (不安定期)

<様子>遅刻や欠席が増える
 学習意欲の低下

16

不登校の初期の支援例

≪ポイント≫
 心身ともに安定させる

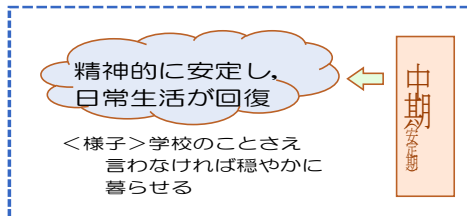
↓

非難や攻撃をせず、
 休息と安静を心がける

<資料4—3>

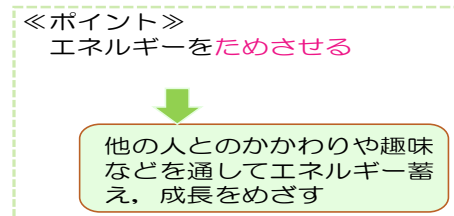
17

不登校の経過と段階……中期



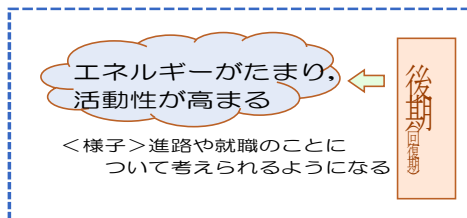
18

不登校の中期の支援例



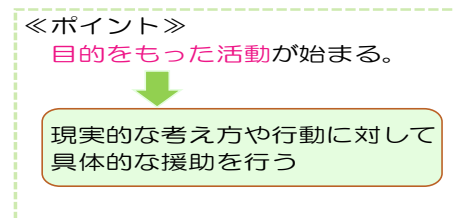
19

不登校の経過と段階……後期



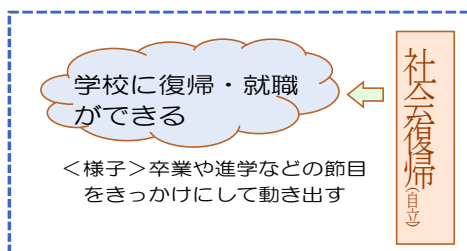
20

不登校の後期の支援例



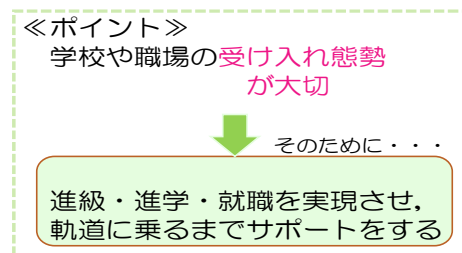
21

不登校の経過と段階……社会復帰



22

不登校の社会復帰の支援例

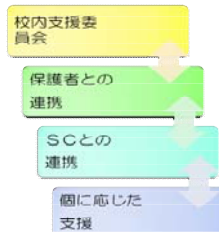


23

3実践されている効果的支援

○市内の学校で、実際に行われている支援方法です。

○担任1人でかかえるのではなく、共通理解をはかり、役割分担して行います。



24

実践されている効果的支援例 ①
～校内支援委員会(不登校を主対象とした会)～

